

特別企画展

とちぎ戦後80年

いま、
おやと子で知る
軍隊・戦争と栃木

2025
7/12(土)
—
8/31(日)

- 開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日(7/21・8/11を除く)、7/22(火)、8/12(火)
- 観覧料 一般500(400)円、高・大生250(200)円
中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金、またはM割料金

※M割について

栃木県博物館協会M割参加館の通常料金の入館券を持って
入館日から6ヶ月以内に入館すると割引を受けられます。



Tochigi Prefectural Museum
栃木県立博物館

〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2
TEL:028-634-1311(代) FAX:028-634-1310

撮影 中島みどり (画像提供 宇都宮市)

とちぎ戦後80年

いま、おやと子で知る軍隊・戦争と栃木

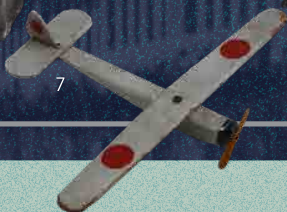
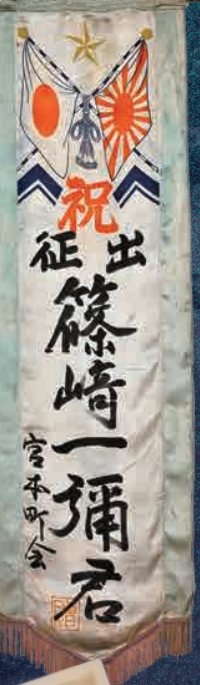
あの戦争から、八〇年――。

日本、そして日本国民にとっての「戦争」が終結して、今年でちょうど八〇年。戦争の時代を経験していない世代が日本の人口のほとんどを占め、実際に経験した人々の声を直に耳にする機会は目に見えて減ってきています。

しかし、八〇年前までは確かに、「軍隊」が政治や経済にとどまらず人々のくらしに隣り合う形で存在していました。そして人々は、「戦争」のただなかを生きていたのです。

本展では、明治時代初期の近代的な軍制が整えられていった時期から、過酷な時代を生き抜いた人々が担った戦後の復興期までを中心に、数多くの資料をご紹介します。これらの資料たちは、「軍隊」と「戦争」の時代を生きた人々の姿を描き出し、戦禍が国民にもたらす影響の大きさを静かに物語ってくれるはずです。

戦後八〇年目の、夏。親と子で、または祖父母と子・孫で、「軍隊」そして「戦争」と栃木との関わりについて、知ってみませんか――。



1. 栃木県大演習之図 明治25年(1892) 当館蔵
2. 軍隊らっぱ 明治～昭和 個人蔵(磯田守氏コレクション)
3. 絵はがき「入宮カラ除隊マデ」小野寺秋風画 昭和 当館蔵
4. 出征旗 昭和 個人蔵(藤田好三氏コレクション)
5. 満蒙開拓青少年義勇軍に参加して渡満した少年 昭和 当館蔵

6. アンガウル島の遺品 昭和19年(1944) 個人蔵(陸上自衛隊宇都宮駐屯地防衛資料館寄託)
7. 飛行機のおもちゃ 昭和 個人蔵(磯田守氏コレクション)
8. M47 焼夷弾 昭和 ピースうつつのみや蔵
9. 空襲で焼失した大ケヤキから作られた仏像 浄鏡寺(宇都宮市)蔵

〔背景画像〕 宇都宮二荒山神社階段上から見下ろした空襲後の市街(現在のパンパ広場付近) 撮影：中島みどり 画像提供：宇都宮市

記念講演会 要予約 定員：150名 会場：当館講堂

「第十四師団と栃木県民」

講師：大嶽浩良氏(栃木県歴史文化研究会顧問、栃木県文化功労者)
8月10日(日) 13:30～15:30

※聴講には、特別企画展の当日の観覧券が必要です。

シンポジウム 予約不要 定員：150名 会場：当館講堂

「今、“とちぎ戦後80年”を考える」

8月2日(土) 13:30～15:30

学芸員とおき講座 予約不要 定員：150名 会場：当館講堂

「おやと子で いっしょに知ろう “戦争”のこと」

講師：小柳真弓(当館学芸員)
7月20日(日) 13:30～15:00

学芸員による展示解説 予約不要 定員：20名程度 会場：当館展示室2

7月26日(土) 14:00～15:00
8月17日(日) 14:00～15:00

※館内を観覧するので、特別企画展の当日の観覧券が必要です。

アクセス



- ・JR宇都宮駅または東武宇都宮駅から「桜通り経由鶴田駅行」または「桜通り経由西川田駅行」で「中央公園博物館前」下車(徒歩8分)
- ・「長坂経由新鹿沼行」または「西の宮団地行」で「文星芸術大学附属中高」下車(徒歩8分)



栃木県博

※関連イベントの詳細は当館のホームページをご確認ください。